

Information

◆2月事業

テーマ：和の想い溢れる川越の未来の創造に向けて
～営業的アプローチで学ぶ会員拡大とは～

日 時：2020年2月4日（火）

登録・受付：18：30

開 会：19：00

閉 会：20：45

会 場：ウェスタ川越 市民活動 生涯学習施設 会議室1・2
担 当：拡大特別委員会

来る2月4日（火）、ウェスタ川越にて2月事業を担当いたします。

テーマを『和の想い溢れる川越の未来の創造に向けて～営業的アプローチで学ぶ会員拡大とは～』と題し、LOMメンバーと共に拡大をしていく重要性和その意味合いを学びます。

講師には、日本JCのシニアクラブ拡大支援委員会に所属されております中田善弘先輩をお招きし、拡大委員長を務められた経験を基にご講演いただきます。講演を通じて、拡大がLOMの最重要課題であるという認識をメンバーにもってもらい、拡大の意識を芽生えさせることで、拡大の基盤作りを行います。

（公社）福井青年会議所は、2003年の全国大会の際200人近いメンバーがいましたが、2010年中田先輩が、拡大委員長を務めた年は94名までになっておりました。人数の減少と共にLOMの活気もなくなっていく中で、LOMの空気を変革するための様々な取り組みにより、32名の入会実績を上げその後の拡大の基盤を築かれました。

また、拡大委員長を務めた経験を自社の営業にも活かし、現在では、福井で一番の人材派遣会社にまで成長されております。ご卒業後は、お世話になった青年会議所へ“何か恩返しをしたい”という想いから、日本JCのシニアクラブ拡大支援委員会にて、全国のLOMで講演活動をはじめ精力的にご活躍なさっています。

（公社）川越青年会議所のまちづくり運動をさらに力強いものにするためにも正会員の人数を増やし続けなければなりません。メンバー一人ひとりが、拡大に対する意識を持つことが歴史と伝統を未来につなぎ、和の想い溢れる川越の未来の創造への第一歩だと確信しております。

和の想い溢れる川越の未来の創造に向け、メンバーの皆様には、多くのご参加をよろしくお願いいたします。

拡大特別委員長 町田 佳太

第14号議案 拡大勉強会（案）に関する件
第15号議案 2月例会（案）に関する件
第16号議案 褒賞方法（案）に関する件
全議案とも、原案通り可決承認されました

出席理事：17名中16名

Information

◆2月例会

テーマ：団結し和の想い溢れる川越へ

日 時：2020年2月20日（木）

登録・受付：15：30

開 会：16：00

閉 会：21：45

会 場：セレモニー 川口貸会議室

本 例 会 川口総合文化センター リリア

担 当：運営特別委員会

2月20日（木）に川口の地にて2月例会を担当いたします。テーマを『団結し和の想い溢れる川越へ』と題して、本例会では（公社）日本青年会議所関東地区埼玉ブロック協議会による2020年度合同所信伝達式へ参加いたします。本事業は（公社）日本青年会議所第69代会頭 石田全史君が京都會議にて発表した所信を受けて、埼玉ブロック協議会がどのような方向に運動展開していくのかを第53代会長 内田剛史君より伝達していただき、本年度の埼玉ブロック協議会の方針や方向性を理解する事を目的としています。メンバーの皆様には埼玉ブロック協議会の一年間の活動方針を知り、出向者支援への理解を深めていただきたいと思っております。

（公社）川越青年会議所からは第60代理事長の小谷野和統君、監査担当役員として出向する仁平広海直前理事長が登壇し、（公社）川越青年会議所の60周年記念式典のPRの機会も設けられています。多くのメンバーで参加・PRを行い、県内29LOMの皆様にも60周年であることを知っていただきたいと考えております。また、本事業に参加することが、埼玉ブロック協議会へ出向しているメンバーへの何よりの支援となります。

前半・後半セレモニー共に川口の地で行い、開会時間が普段の例会よりも早くなっておりますが、多くのメンバーのご参加を心よりお待ちしております。

運営特別委員長 山田 圭輔

新入会員紹介

加藤 澄矢（かとう すみや）君

事業所

株式会社 創栄

事業内容

保険代理店

事業所住所

川越市旭町1丁目14番地21

旭町フラット1F



この度は（公社）川越青年会議所の正会員にご承認いただき誠にありがとうございます。社会人としても、人間としてもまだまだ若輩ではございますが、皆さまのお力に少しでもなれるよう、ご期待に応えられるよう精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2020年1月号
発行：公益社団法人川越青年会議所 2020年度理事長 小谷野和統
〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12
tel：049-229-1810 e-mail：info@kawagojc.com https://www.kawagojc.com/
編集：総務委員会 印刷：株式会社クワイエトワン

理事長挨拶

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、（公社）川越青年会議所の活動に対しまして、多大なるご支援ご協力賜り、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。私は、（公社）川越青年会議所第60代理事長を務めさせていただきます、小谷野和統と申します。2020年度も大変お世話になるかと思いますが、これまでと変わらぬご支援ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年は新天皇即位に伴い、元号が平成から令和に変わり新しい時代がスタートいたしました。一方で、台風による甚大な被害もあり、日本において大きな変化や様々なことがあった一年でありました。そのような中、ラグビーワールドカップが日本で開催され、まさにONE TEAMの盛り上がりを見せていただき、我々に元気と勇気を与えてくれました。そして2020年度は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。ここ川越でもゴルフ競技が開催されることもあり、大きな注目を浴びております。今、未来に向けてよりグローバルな視点を持ち、サステイナブルでダイバーシティに対応できる力が求められております。我々は今後も未来に向けて前進し続けなければなりません。そのために、互いに相手を大切に、協力し合う、和の想い溢れる川越の未来を創造するべく、運動展開してまいります。

（公社）川越青年会議所の2020年度は、スローガンに「自覚と使命感を持ち共に歩もう 和の想いが紡ぐ未来への軌跡」とさせていただきます。ひとが何かを成し遂げるためには、確かな目標を持つことが必要であり、そのために、自覚と使命感を持って行動できる人財を育成してまいります。そのような人財が、それぞれの地域で行動することで、川越の未来を創造するきっかけとなると考えております。

さらに子どもたちには、世界に通用するダイバーシティに対応できる力が求められております。子どもたちが世界に触れる機会を創出し、グローバルに適應する力を養ってまいります。まちづくりでは、インバウンドに対するおもてなし力の向上と、オーバーツーリズム対策に取り組んでまいります。今までに培ってきた多くの繋がりを活用し、行政や諸団体とも連携したまちづくりを行ってまいります。

また、企業にはダイバーシティを取り入れた考え方が必要であり、お互いの個性を尊重していくべきであると考えます。さらに、働き方改革にもある多様性を受け止める柔軟な環境を創る機会を与え、実践させる取り組みを行ってまいります。そして常に先駆けて運動を展開していくために、時代の流れに対応した多角的な視点を持った組織運営を行ってまいります。また、効果的な運動展開をするために、すべてのメンバーが当事者意識を持って会員拡大に取り組んでまいります。さらに、我々の運動展開を明確にタイムリーに発信することで、（公社）川越青年会議所をより多くのひとへ伝えてまいります。

2020年度は、創立60周年を迎える記念すべき年となります。素晴らしい一年となるように、自覚と使命感を持って、メンバー丸となり、和の想い溢れる運動展開をしてまいります。協賛会員の皆さま、OB会をはじめ、多くの諸先輩方の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻賜れば幸いです。

結びとなりますが、2020年度が皆さま方にとりまして、益々ご健勝、ご多幸の一年になりますようご祈念申し上げます。新年にあたりましてご挨拶とさせていただきます。



2020年度 役員紹介

| | |
|---------------|-------|
| 第60代理事長 | 小谷野和統 |
| 直前理事長 | 仁平 広海 |
| 副理事長 | 神戸 光邦 |
| 副理事長 | 明ヶ戸亮太 |
| （委員長連絡会議議長兼務） | |
| 副理事長 | 山口 善徳 |
| 室長 | 西川 明良 |
| 室長 | 山根 史子 |
| 専務理事 | 鈴木 貴恭 |
| 監事 | 笛木 正司 |
| 監事 | 重成 大毅 |
| 監事 | 坂口 融 |
| 総務委員長 | 矢島 正邦 |
| 会員開発委員長 | 源 直樹 |
| 広報委員長 | 樋口 直喜 |
| 社会開発委員長 | 相原 広明 |
| 青少年育成委員長 | 西川 幸佑 |
| 経営開発委員長 | 山本 翔吾 |
| 拡大特別委員長 | 町田 佳太 |
| ひとづくり特別委員長 | 藤田 宏一 |
| 運営特別委員長 | 山田 圭輔 |
| 記録会計特別委員長 | 鈴木 直樹 |